

クラス番号	626	担当教員名	大谷 京子
テーマ	ソーシャルワーカーの態度・思考を学ぶ		
著書・論文 研究課題等	『ソーシャルワーク関係―ソーシャルワーカーと精神障害当事者―』相川書房, 2012. 『失敗ポイントから学ぶ PSW のソーシャルワークアセスメントスキル』中央法規, 2018. 「包括的ソーシャルワークアセスメント：アセスメント概念の進化を踏まえて」『ソーシャルワーク研究』44(2), 81-91, 2018. 『スーパービジョンのはじめかた：これからバイザーになる人に必要なスキル』ミネルヴァ書房, 2019. 「社会福祉の回顧と展望「原理論・方法論部門人に価値はあるのか―社会福祉への挑戦―」『社会福祉研究』137号;84-89, 2020. 「ソーシャルワークスーパービジョンスキルの評価指標開発―認定スーパーバイザーへの質問紙調査を通して―」『ソーシャルワーク学会誌』38; 39-50, 2019.		

ゼミナール概要

キーワード：ソーシャルワーカーアイデンティティ、当事者研究、精神障害に関する啓発実践

目的 ① 自分を知り、「なりたい自分」になるために、ゼミメンバーと共に成長します。

② ソーシャルワーカーとしての実践力を養います。

③ 卒論作成を通して、自分の疑問を言葉にし、探求し、答えを見つけるプロセスを身に付けます。

内容 ゼミ活動の内容・方法は、皆で相談して決めていきたいと思います。ソーシャルワーカーとしての実践力獲得をベースにしますが、そのためには、面接技術やアセスメント力だけでなく、人間力、対人スキル、柔軟性、抜く力、瞬発力、想像力、発想力、持続力、創造力、ユーモアなど、たくさんの力が役に立ちます。それらはあなたが既に持っているものです。自分の中にある力を開花させるきっかけを皆で探していきたいと思います。

これまでは「ビブリオバトル」、「ディベート」、「当事者研究」、「面接技法の練習」、「啓発動画作成」、「バンジージャンプ」、「精神科病院での啓発実践」、「先駆的实践現場見学」等々、皆で決めて実施しました。

計画

3年生

- ・4年生が企画するゼミ合宿に参加します。
- ・読む力、書く力、発表する力を身につけます。
- ・夏休みには、卒業研究につながるレビュー論文を作成します。
- ・学生の学生による学生のための「自主企画」を実施します。
- ・学生が企画運営をして、ゼミ合宿へ行きます。
- ・学生が主体的に企画・運営しますが、これまでは、南知多病院のクリスマス会で患者さんたちへモチベーション喚起のためのお芝居をしたり、高校生向けの啓発プログラムを考えて実施したりしました。

4年生

- ・当事者研究を行います。
- ・夏休みまでに卒業論文を提出します。
- ・後期は国家試験対策を全員で行います。

卒業後も、「歴代大谷ゼミ同窓会」が毎年3月に開催されます。横はもちろん、縦のつながりも大切にしています。

担当教員からのメッセージ



お互いに相手を大切にするゼミを目指しましょう。ゼミの全てのメンバーにとって安心できる場所にするため、安心を提供する責任をお互いに担っていききたいと思います。

一人ひとりが個性を発揮し、それぞれのタレントを生かしているようなゼミにしたいと思います。そんなゼミ創りに貢献していただける人を希望します。精神保健領域に限りませんが、ソーシャルワーカー志望者がなじみやすいと思います。

エントリーシートには、①ソーシャルワークに関心をもった理由、②現段階での希望進路とその理由、③「がんばったなあ、自分」と思える経験とそこから学んだこと、④あなたご自身のセールスポイントを記載してください。